



冬を楽しみつつ、休み明けの先を見据えて実力アップ!の巻

9月から12月まで、クラスマッチやつくば校外学習、イングリッシュ・スタディなどいろいろな行事がありましたね。夏休みのころと比べて、ずっと成長しているはず! 得意なこと、できることは確実に増えていますよ。

その一方で、苦手なことが見えてきた人もいるでしょう。先日の新教研テストは出題範囲が広がったですが、基礎的な力が問われていました。スタディサプリの到達度テストも基本的なところを確認しています。つまり、どちらも重要な部分です。附属中集会でお話したとおり、この先の学習に弾みをつけるために、冬休みから来春にかけて、基礎基本をしっかりと理解して定着させてほしいなと思います。この先、1月から3月にかけては「自宅学習日」も増えます。しっかり過ごして行ってほしいです。



三者面談を終えて、あらためて保護者の方とじっくり話をするのもよいですね。新年を迎えるタイミングなら、いつもよりずっと深い話ができるかも。最近興味を持ち始めたことや、将来やってみいたいこと、そんな話をするのも大切です。

Check!
01

冬休みは満喫しつつ、「セルフマネジメント」をしっかりと。自分を律しよう

さて、冬休みはどうすごしましょうか?

附属中集会で教頭先生から「自己管理能力」についてのお話がありましたが、実は、12月の最初に行った Edv Path の結果では、「セルフマネジメント」の項目が下がっている人が多く見受けられました。「セルフマネジメント」とは、自分の夢や達成したいこと、やるべきことなどのために、自分の気持ちや行動を整えることです。

冬休みはきっといろいろなイベントもあることでしょう。ただ、休み明けには学力推移調査や学年末テストも待っています。楽しいイベントはもちろん全力で楽しみ、勉強などやるべきことに向かう気持ちもきちんと整えて、大一番に備えたいですね。メリハリつけていきましょう!



【学力推移調査 第3回 出題範囲】

国語	数学	英語
①言語知識・言語活用 ・漢字に関する知識(書き取り・読み・構成など) ・語彙(ことわざ・慣用句など) ・口語文法(言葉の単位・文の成分など) ・言語活動の場面を想定した設問 ②説明的文章読解 ③小説読解 ④随筆読解	必答問題 ・正の数、負の数 ・文字の式 ・方程式 選択問題 ・方程式 ・平面図形、空間図形	①リスニング ②語彙・文法 ③読解&表現 ④読解 ⑤英作文 第2回の内容に加え、 ・一般動詞(三人称の現在形) ・疑問詞(what+名詞、when, where, how many, whose, how, which) ・現在進行形 ・命令文 ・接続詞(and, but, or) ・one(不定代名詞)

ちなみに第2回の範囲は夏休み直前号に載っています。附属中 web サイトで 学校生活>学習進路だより を見てね!



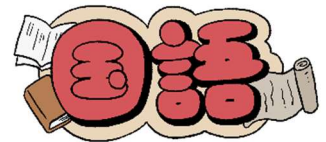
「この冬休み、苦手を克服したり得意を伸ばしたりするのにどうしたらいいかな？」と
考えている人へ。国数英の3教科について、先生方からアドバイスをいただきました！

悩んでいる人もそうでない人も、自分の学習方法を見直すのに役立つはず。

1つずつ、自分のやり方に+αしていくのもいいですね。

前号までの「学習の工夫」と合わせて、ぜひ参考にしてください。

【国語の勉強法】



◎読書は最高の勉強法！

- * 多様な本を読む：小説だけでなく、新聞・雑誌、エッセイも OK！様々な言葉に触れましょう。
- * 声に出して読む：音読は、文章の意味を深く理解するのに役立ちます。
- * 読書ノート：印象に残った言葉や文章をメモしましょう。

◎目指せ、語彙力 UP！

- * 辞書を引く習慣：新しい言葉を見つけたら、(類義語や対義語を含めて)辞書で確認しましょう。

◎書く練習も大切！

- * 日記：毎日感じたことや考えたことを書き出しましょう。
- * 作文：テーマを決めて、自分の考えを文章にまとめましょう。



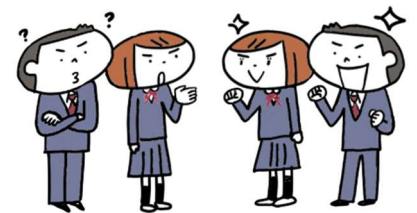
◎古文・漢文も克服！

- * 文法をマスター：基本的な文法をしっかりと理解しましょう。
- * 単語を覚える：重要単語を繰り返し覚えましょう。
- * 読解練習：古文・漢文の文章をたくさん読みましょう。



〈ポイント〉

- * 復習は忘れずに：定期的に復習することで、忘れずに定着させることができます。
- * 楽しく学ぶ：ゲーム感覚で勉強できるアプリなども活用しましょう。
- * 質問はこまめにする：わからないことは、先生や友達に質問しましょう。



〈まとめ〉

国語の勉強は、ただ問題を解くだけでなく、読書や作文など、様々な活動を通して行うことが大切で、「学問に王道なし」です。

「読・書・聞・話」の4つの力をバランスよく伸ばすことで、国語の成績アップを目指しましょう！

【数学科より】

以前寄せられた
質問に答えて
いただきました！



「問題集を何周もしているのに模試だと解けない・・・」という人へ

この悩みを持つ人は多いかと思います。あくまで予想ですが、以下の原因があるのではないのでしょうか。

(1)よくわかっていなくても慣れで解いてしまっている

完成ノートの問題を何周もやって答えは書けるようになったけれど、真の要点はわかっていないという可能性です。これに当てはまる人は、使う知識や解法は授業でやった問題と変わりが無いのに、模試の問題文が少し難しかったり、聞き方が変わっていたりすると解けなくなってしまいます。模試など思考力が必要な問題でも、問題を見た瞬間に解法の手がかりがぱっと思い浮かぶことが理想です。



(2)テスト慣れしていない

もはや精神論ですが、テストの時の緊張感や焦りから普段の力が発揮できないという人も多いのではないのでしょうか。テスト前には以下のように、なるべく試験に近い環境で練習してみると良いと思います。

- ・机の上には筆記用具と問題、解答用紙(ただの白紙でよい)のみを用意する
- ・家の人に試験官役をお願いし、監督と時間の計測をしてもらう



最後に、上記のアドバイスは問題集を何周もしている人に向けたアドバイスです。

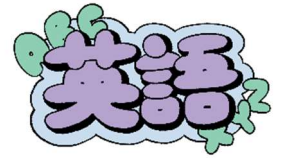
いつも課題を出すためだけにやっている、1・2周しかやらないという人はまず量をこなしてください。



オイラー

解いた数だけ力になる！

【英語の勉強法】これまでいただいた質問に答えます！



○長文を読む力をつけるには？

まずは1文1文書かれていることの意味を正確に理解できるようになりましょう。

- ①教科書の Key Point や本文、Read など、一度読んだもの・理解したものを、何度も読みましょう。その際、「正確に理解できているか、語彙や文法などわからないところがないか」を確認し、曖昧なところをなくしましょう。
- ②英語の語順のまま意味が取れるよう練習しましょう。例えば in the morning のような意味のまとまりを意識してとらえて覚えていくと、理解のスピードが上がります。

○リスニング力を育てるには？

聞き流しはあまり効果がありません。意味を理解している文章を聞き取る練習が第一です。

- ①意味を理解できている音声と原稿を用意。まずはデジタル教科書がおすすめ。
- ②聞き取りにくいところは繰り返したり、スピードを変えたりしてじっくり聞き取ってみましょう。単語がくっついて発音が変わったり消えたりするところに注意。聞けるようになったらスピードを上げてみましょう。
- ③English Central も活用しましょう。一回目は何も見ないで内容を聞き取ってみて、そのあとで原稿を確認し、内容を理解した上で、②をやってみましょう。
- ④音読もリスニング力アップに効果があります！



動画ページのタイトル横、虫メガネマークのところに原稿&和訳があります。

○音読は万能薬！ 困ったらまずは音読から！

- ①声に出して読むことで、文章の意味を深く理解できます。
表層だけなぞって読むのではなく、内容を具体的にイメージしながら読みましょう。
- ②正しく発音できない(間違っただけで覚えている)単語はもちろん聞き取れません。リスニングで困ってしまいますね。
音読練習で、発音の曖昧なものをなくしておきましょう。
- ③スピードも上げましょう。自分が読めるスピードのものはたいてい聞き取れます。音読時にはスピードも意識！
- ④発音を磨くことは、リスニング力にもつながります。Qulmee で英語らしい発音も磨いていきましょう。
なお、音声を聞きながら音読練習するときは、ヘッドホンを使いましょう。正しい発音と自分の発音との違いがわかって、速く上達しますよ。

○正しい英文を書く力を育てるには？

- ①スペルは「発音」と「つづり」のパターンを身につけることも大切。発音しながら書く練習を重ねましょう。デジタル教科書のフラッシュカード(単語のところ)でランダムに音を流すよう設定し、書いてみるのも良いですね。
- ②同じことを Key Point や本文でもやってみましょう。なお、音声を流しての書き取りは「ディクテーション」といいます。コツは書き終わった後で、文法の知識の面からチェックをすることです。答え合わせはそのあとで！
- ③英作文が苦手な人は、教科書の例文を参考にして、単語を変えたり構造を真似した文を書いてみたりすることからはじめましょう。正確さに不安があるなら、先生や Timothy にチェックしてもらいましょう。

○どれも繰り返しが大事。なぜ？

繰り返すことで、単語や文法が定着するからです。また、繰り返せば繰り返すほど、英語を判断する脳の回路の処理速度が上がっていくので、初めて読む・聞く英文でも理解するスピードが上がっていきますよ。

読解練習をした英文で音読練習&リスニング練習をして、さらにディクテーション(音声の書き取り)をすると、一石四鳥です！



冬休みの課題もうまく活用しましょうね！ (詳細は classroom にて)



冬を楽しみつつ、春の進級を見据えて実力アップ!の巻

9月以降、前期期末テスト、クラスマッチ、国内語学研修、後期中間テスト、英検 IBA に新教研テスト……濃い4か月間でしたね。2年生は、自分をしっかり見つめて努力を重ねる人がグンと増えてきたように思います。いい感じ!

その一方で、苦手な分野にあらためて気付いた人も多いと思います。先日の新教研テストは出題範囲が広がったのですが、基礎的な力が問われていました。スタディサプリの到達度テストも基本的なところを確認しています。つまり、どちらも重要な部分です。附属中集会でお話したとおり、この先の学習に弾みをつけるために、冬休みから来春にかけて、基礎基本をしっかりと理解して定着させてほしいなと思います。この先、1月から3月にかけては「自宅学習日」も増えます。しっかり過ごして行ってほしいです。

三者面談を終えて、あらためて保護者の方とじっくり話をするのもよいですね。新年を迎えるタイミングなら、いつもよりずっと深い話ができるかも。最近興味を持ち始めたことや、将来やってみたいこと、そんな話をするのも大切です。



Check!
01

冬休みは満喫しつつ、「セルフマネジメント」をしっかりと。自分を律しよう

さて、冬休みはどうすごしましょうか?

附属中集会で教頭先生から「自己管理能力」についてのお話がありましたが、実は2年生の先日の Edv Path の結果を見ると、人によって振り幅が大きかったのが「セルフマネジメント」の項目でした。自分の夢や達成したいこと、やるべきことなどのために、自分の気持ちや行動を整えるのが「セルフマネジメント」です。うまくできるようになってきた! という人と、逆にうまくいってないな…という人の差がどうやら大きいようです。将来のために自分をコントロールしていく力、少しずつ意識して身につけていきたいですね。

冬休みはきっといろいろなイベントもあることでしょう。ただ、休み明けには学力推移調査や学年末テストも待っています。楽しいイベントは全力で楽しみ、勉強などやるべきことに向かう気持ちもきちんと整えて、大一番に備えたいですね。メリハリつけていきましょう!

【学力推移調査 第3回 出題範囲】

国語	数学	英語
①言語知識・言語活用 ・漢字に関する知識(書き取り・読み・構成など) ・語彙(ことわざ・慣用句など) ・口語文法(言葉の単位・文の成分・活用など) ・言語活動の場面を想定した設問 ②説明的文章読解 ③文学的文章読解 ・小説、随筆等から出題 ④古文読解 ・現代語訳併記の古文に関する設問	【全問必答】4問 ・検定教科書の中1の範囲 ・式と計算 ・連立方程式 ・一次関数 ・平行と合同、三角形・四角形の性質	①リスニング ②語彙・文法 ③読解・表現 ④読解 ⑤英作文 第2回の範囲に加え、 ・助動詞(must, have to, may) ・SVOO(Oは語・句) ・SVC(look) ・動名詞 ・比較の文(as...as~, 比較、最上級(in / of / all), better, best, 副詞) ・SV+how to ・不定詞(副詞的用法)

ちなみに第2回の範囲は夏休み直前号に載っています。附属中 web サイトで 学校生活>学習進路だより を見てね!



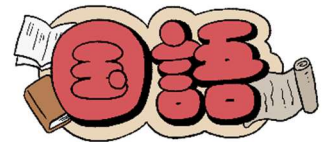
「この冬休み、苦手を克服したり得意を伸ばしたりするのにどうしたらいいかな？」と
考えている人へ。国数英の3教科について、先生方からアドバイスをいただきました！

悩んでいる人もそうでない人も、自分の学習方法を見直すのに役立つはず。

1つずつ、自分のやり方に+αしていくのもいいですね。

前号までの「学習の工夫」と合わせて、ぜひ参考にしてください。

【国語の勉強法】



◎読書は最高の勉強法！

- * 多様な本を読む：小説だけでなく、新聞・雑誌、エッセイも OK！様々な言葉に触れましょう。
- * 声に出して読む：音読は、文章の意味を深く理解するのに役立ちます。
- * 読書ノート：印象に残った言葉や文章をメモしましょう。

◎目指せ、語彙力 UP！

- * 辞書を引く習慣：新しい言葉を見つけたら、(類義語や対義語を含めて)辞書で確認しましょう。

◎書く練習も大切！

- * 日記：毎日感じたことや考えたことを書き出しましょう。
- * 作文：テーマを決めて、自分の考えを文章にまとめましょう。



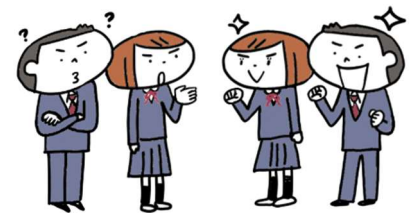
◎古文・漢文も克服！

- * 文法をマスター：基本的な文法をしっかりと理解しましょう。
- * 単語を覚える：重要単語を繰り返し覚えましょう。
- * 読解練習：古文・漢文の文章をたくさん読みましょう。



〈ポイント〉

- * 復習は忘れずに：定期的に復習することで、忘れずに定着させることができます。
- * 楽しく学ぶ：ゲーム感覚で勉強できるアプリなども活用しましょう。
- * 質問はこまめにする：わからないことは、先生や友達に質問しましょう。



〈まとめ〉

国語の勉強は、ただ問題を解くだけでなく、読書や作文など、様々な活動を通して行うことが大切で、「学問に王道なし」です。

「読・書・聞・話」の4つの力をバランスよく伸ばすことで、国語の成績アップを目指しましょう！

【数学科より】

以前寄せられた
質問に答えて
いただきました！



「問題集を何周もしているのに模試だと解けない・・・」という人へ

この悩みを持つ人は多いかと思います。あくまで予想ですが、以下の原因があるのではないのでしょうか。

(1)よくわかっていなくても慣れで解いてしまっている

完成ノートの問題を何周もやって答えは書けるようになったけれど、真の要点はわかっていないという可能性です。これに当てはまる人は、使う知識や解法は授業でやった問題と変わりが無いのに、模試の問題文が少し難しかったり、聞き方が変わっていたりすると解けなくなってしまいます。模試など思考力が必要な問題でも、問題を見た瞬間に解法の手がかりがぱっと思い浮かぶことが理想です。



(2)テスト慣れしていない

もはや精神論ですが、テストの時の緊張感や焦りから普段の力が発揮できないという人も多いのではないのでしょうか。テスト前には以下のように、なるべく試験に近い環境で練習してみると良いと思います。

- ・机の上には筆記用具と問題、解答用紙(ただの白紙でよい)のみを用意する
- ・家の人に試験官役をお願いし、監督と時間の計測をしてもらう



最後に、上記のアドバイスは問題集を何周もしている人に向けたアドバイスです。

いつも課題を出すためだけにやっている、1・2周しかやらないという人はまず量をこなしてください。



オイラー

解いた数だけ力になる！

【英語の勉強法】これまでいただいた質問に答えます！



○長文を読む力をつけるには？

まずは1文1文書かれていることの意味を正確に理解できるようになりましょう。

- ①教科書の Key Point や本文、Read など、一度読んだもの・理解したものを、何度も読みましょう。その際、「正確に理解できているか、語彙や文法などわからないところがないか」を確認し、曖昧なところをなくしましょう。
- ②英語の語順のまま意味が取れるよう練習しましょう。例えば in the morning のような意味のまとまりを意識してとらえて覚えていくと、理解のスピードが上がります。

○リスニング力を育てるには？

聞き流しはあまり効果がありません。意味を理解している文章を聞き取る練習が第一です。

- ①意味を理解できている音声と原稿を用意。まずはデジタル教科書がおすすめ。
- ②聞き取りにくいところは繰り返したり、スピードを変えたりしてじっくり聞き取ってみましょう。単語がくっついて発音が変わったり消えたりするところに注意。聞けるようになったらスピードを上げてみましょう。
- ③English Central も活用しましょう。一回目は何も見ないで内容を聞き取ってみて、そのあとで原稿を確認し、内容を理解した上で、②をやってみましょう。
- ④音読もリスニング力アップに効果があります！



動画ページのタイトル横、虫メガネマークのところに原稿&和訳があります。

○音読は万能薬！ 困ったらまずは音読から！

- ①声に出して読むことで、文章の意味を深く理解できます。
表層だけなぞって読むのではなく、内容を具体的にイメージしながら読みましょう。
- ②正しく発音できない(間違っただけで覚えている)単語はもちろん聞き取れません。リスニングで困ってしまいますね。
音読練習で、発音の曖昧なものをなくしておきましょう。
- ③スピードも上げましょう。自分が読めるスピードのものはたいてい聞き取れます。音読時にはスピードも意識！
- ④発音を磨くことは、リスニング力にもつながります。Qulmee で英語らしい発音も磨いていきましょう。
なお、音声を聞きながら音読練習するときは、ヘッドホンを使いましょう。正しい発音と自分の発音との違いがわかって、速く上達しますよ。

○正しい英文を書く力を育てるには？

- ①スペルは「発音」と「つづり」のパターンを身につけることも大切。発音しながら書く練習を重ねましょう。デジタル教科書のフラッシュカード(単語のところ)でランダムに音を流すよう設定し、書いてみるのも良いですね。
- ②同じことを Key Point や本文でもやってみましょう。なお、音声を流しての書き取りは「ディクテーション」といいます。コツは書き終わった後で、文法の知識の面からチェックをすることです。答え合わせはそのあとで！
- ③英作文が苦手な人は、教科書の例文を参考にして、単語を変えたり構造を真似した文を書いてみたりすることからはじめましょう。正確さに不安があるなら、先生や Timothy にチェックしてもらいましょう。

○どれも繰り返しが大事。なぜ？

繰り返すことで、単語や文法が定着するからです。また、繰り返せば繰り返すほど、英語を判断する脳の回路の処理速度が上がっていくので、初めて読む・聞く英文でも理解するスピードが上がっていきますよ。

読解練習をした英文で音読練習&リスニング練習をして、さらにディクテーション(音声の書き取り)をすると、一石四鳥です！



冬休みの課題もうまく活用しましょうね！ (詳細は classroom にて)



冬を楽しみつつ、高校生活を見据えて実力アップ!の巻

あと3か月+αで高校生。みなさんの顔つきも次第に大人びてきたように思います。
高校生活やその先の進路を見据えて、ひとつひとつ心の準備をすすめていきましょう。

学習に関しては、苦手を一つずつ潰していきたいもの。以前「できない!」と思っていたものも、いまやってみたら簡単に思える、なんてことはよくあります。実際、スタディサプリの到達度テストの結果を見ると、できるようになっていることが春よりもずっとずっと増えていますよ。一步一步前進しています!

冬休みから来春にかけて、基礎基本をしっかりと振り返り、定着させていきましょう。
この先、1月から3月にかけては「自宅学習日」も増えます。中学生活のあと3か月を、しっかり過ごしてほしいです。

三者面談を終えて、あらためて保護者の方とじっくり話をするのもよいですね。
新年を迎えるタイミングなら、いつもよりずっと深い話ができるかも。進路ガイダンスでもお話しした通り、本音の話をしっかりしておくことは大切です。

最近興味を持ち始めたことや、将来やってみたいこと、そんな話もしてみましよう。



Check!
01

冬休みは満喫しつつ、「セルフマネジメント」をしっかりと。

さて、冬休みはどうすごしましょうか?

附属中集会で教頭先生から「自己管理能力」についてのお話がありましたが、実は先日の Edv Path の3年生の結果を見ると、「セルフマネジメント」の項目が上がっている人が多かったです。自分の夢や達成したいこと、やるべきことなどのために、自分の気持ちや行動を整えるのが「セルフマネジメント」です。さすが3年生ですね!(えっ、自分は下がってるんだけど……という人は、ここでちょっと生活を見直してみてね!)

冬休みはきっといろいろなイベントもあることでしょう。ただ、休み明けには学力推移調査や学年末テストも待っています。そしてその先には卒業、高校進学……。入試がない分、気持ちを整えて、楽しいイベントは全力で楽しみ、勉強などやるべきことにもきっちり立ち向かって、大一番に備えたいですね。メリハリつけていきましょう!

【学力推移調査 第3回 出題範囲】(全教科とも60分で実施します)

国語	数学	英語
①言語知識・言語活用 ・漢字に関する知識(書き取り・読み・構成など) ・語彙(ことわざ・慣用句など) ・口語文法(品詞・活用など) ・言語活動の場面を想定した設問 ②説明的文章読解 ③文学的文章読解 ・小説、随筆等から出題 ④古文読解 ・歴史的仮名遣い・読解など	全問必答(5題) 中学校の全履修範囲	①リスニング ②語彙・文法 ③読解・表現 ④読解 ⑤英作文 第2回の範囲に加え、 ・want 人 to do の文、tell 人 to do の文 ・help 人 動詞の原形 ・間接疑問文 ・SVOO(Oは節) ・分詞の後置修飾 ・関係代名詞(主格・目的格・目的格の省略) ・仮定法過去、I wish~の文

ちなみに第2回の範囲は夏休み直前号に載っています。附属中 web サイトで 学校生活>学習進路だより を見てね!



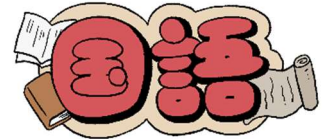
「この冬休み、苦手を克服したり得意を伸ばしたりするのにどうしたらいいかな？」と
考えている人へ。国数英の3教科について、先生方からアドバイスをいただきました！

悩んでいる人もそうでない人も、自分の学習方法を見直すのに役立つはず。

1つずつ、自分のやり方に+αしていくのもいいですね。

前号までの「学習の工夫」と合わせて、ぜひ参考にしてください。

【国語の勉強法】



◎読書は最高の勉強法！

- * 多様な本を読む：小説だけでなく、新聞・雑誌、エッセイも OK！様々な言葉に触れましょう。
- * 声に出して読む：音読は、文章の意味を深く理解するのに役立ちます。
- * 読書ノート：印象に残った言葉や文章をメモしましょう。

◎目指せ、語彙力 UP！

- * 辞書を引く習慣：新しい言葉を見つけたら、(類義語や対義語を含めて)辞書で確認しましょう。

◎書く練習も大切！

- * 日記：毎日感じたことや考えたことを書き出しましょう。
- * 作文：テーマを決めて、自分の考えを文章にまとめましょう。



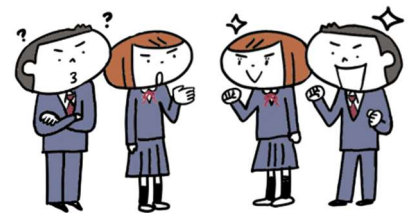
◎古文・漢文も克服！

- * 文法をマスター：基本的な文法をしっかりと理解しましょう。
- * 単語を覚える：重要単語を繰り返し覚えましょう。
- * 読解練習：古文・漢文の文章をたくさん読みましょう。



〈ポイント〉

- * 復習は忘れずに：定期的に復習することで、忘れずに定着させることができます。
- * 楽しく学ぶ：ゲーム感覚で勉強できるアプリなども活用しましょう。
- * 質問はこまめにする：わからないことは、先生や友達に質問しましょう。



〈まとめ〉

国語の勉強は、ただ問題を解くだけでなく、読書や作文など、様々な活動を通して行うことが大切で、「学問に王道なし」です。

「読・書・聞・話」の4つの力をバランスよく伸ばすことで、国語の成績アップを目指しましょう！

【数学科より】

以前寄せられた
質問に答えて
いただきました！



「問題集を何周もしているのに模試だと解けない・・・」という人へ

この悩みを持つ人は多いかと思います。あくまで予想ですが、以下の原因があるのではないのでしょうか。

(1)よくわかっていなくても慣れで解いてしまっている

完成ノートの問題を何周もやって答えは書けるようになったけれど、真の要点はわかっていないという可能性です。これに当てはまる人は、使う知識や解法は授業でやった問題と変わりが無いのに、模試の問題文が少し難しかったり、聞き方が変わっていたりすると解けなくなってしまいます。模試など思考力が必要な問題でも、問題を見た瞬間に解法の手がかりがぱっと思い浮かぶことが理想です。



(2)テスト慣れしていない

もはや精神論ですが、テストの時の緊張感や焦りから普段の力が発揮できないという人も多いのではないのでしょうか。テスト前には以下のように、なるべく試験に近い環境で練習してみると良いと思います。

- ・机の上には筆記用具と問題、解答用紙(ただの白紙でよい)のみを用意する
- ・家の人に試験官役をお願いし、監督と時間の計測をしてもらう



最後に、上記のアドバイスは問題集を何周もしている人に向けたアドバイスです。

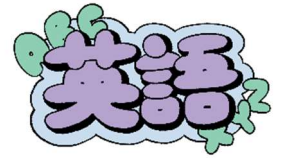
いつも課題を出すためだけにやっている、1・2周しかやらないという人はまず量をこなしてください。



オイラー

解いた数だけ力になる！

【英語の勉強法】これまでいただいた質問に答えます！



○長文を読む力をつけるには？

まずは1文1文書かれていることの意味を正確に理解できるようになりましょう。

- ①教科書の Key Point や本文、Read など、一度読んだもの・理解したものを、何度も読みましょう。その際、「正確に理解できているか、語彙や文法などわからないところがないか」を確認し、曖昧なところをなくしましょう。
- ②英語の語順のまま意味が取れるよう練習しましょう。例えば in the morning のような意味のまとまりを意識してとらえて覚えていくと、理解のスピードが上がります。

○リスニング力を育てるには？

聞き流しはあまり効果がありません。意味を理解している文章を聞き取る練習が第一です。

- ①意味を理解できている音声と原稿を用意。まずはデジタル教科書がおすすめ。
- ②聞き取りにくいところは繰り返したり、スピードを変えたりしてじっくり聞き取ってみましょう。単語がくっついて発音が変わったり消えたりするところに注意。聞けるようになったらスピードを上げてみましょう。
- ③English Central も活用しましょう。一回目は何も見ないで内容を聞き取ってみて、そのあとで原稿を確認し、内容を理解した上で、②をやってみましょう。
- ④音読もリスニング力アップに効果があります！



動画ページのタイトル横、虫メガネマークのところに原稿&和訳があります。

○音読は万能薬！ 困ったらまずは音読から！

- ①声に出して読むことで、文章の意味を深く理解できます。
表層だけなぞって読むのではなく、内容を具体的にイメージしながら読みましょう。
- ②正しく発音できない(間違っただけで覚えている)単語はもちろん聞き取れません。リスニングで困ってしまいますね。
音読練習で、発音の曖昧なものをなくしておきましょう。
- ③スピードも上げましょう。自分が読めるスピードのものはたいてい聞き取れます。音読時にはスピードも意識！
- ④発音を磨くことは、リスニング力にもつながります。Qulmee で英語らしい発音も磨いていきましょう。
なお、音声を聞きながら音読練習するときは、ヘッドホンを使いましょう。正しい発音と自分の発音との違いがわかって、速く上達しますよ。

○正しい英文を書く力を育てるには？

- ①スペルは「発音」と「つづり」のパターンを身につけることも大切。発音しながら書く練習を重ねましょう。デジタル教科書のフラッシュカード(単語のところ)でランダムに音を流すよう設定し、書いてみるのも良いですね。
- ②同じことを Key Point や本文でもやってみましょう。なお、音声を流しての書き取りは「ディクテーション」といいます。コツは書き終わった後で、文法の知識の面からチェックをすることです。答え合わせはそのあとで！
- ③英作文が苦手な人は、教科書の例文を参考にして、単語を変えたり構造を真似した文を書いてみたりすることからはじめましょう。正確さに不安があるなら、先生や Timothy にチェックしてもらいましょう。

○どれも繰り返しが大事。なぜ？

繰り返すことで、単語や文法が定着するからです。また、繰り返せば繰り返すほど、英語を判断する脳の回路の処理速度が上がっていくので、初めて読む・聞く英文でも理解するスピードが上がっていきますよ。

読解練習をした英文で音読練習&リスニング練習をして、さらにディクテーション(音声の書き取り)をすると、一石四鳥です！



冬休みの課題もうまく活用しましょうね！ (詳細は classroom にて)